

■北政所おね(ねね・高台院) 豊臣秀吉の正室。実子を得ずも、秀吉の正式な代理人として扱われ、公武から慕われた。

きたのまんどころおね

今川義元登場1542=

尾張国の杉原助左衛門定利の次女に生まれる。母は杉原七郎兵衛家利の娘朝日。幼名は於禰。

鉄砲伝来・・・1543= 1歳:

父が早世したためか、織田信長の家臣浅野長勝(叔母の夫)の養女となる。

ザビエル来日1549= 7歳:

織田信長登場1551= 9歳:

桶狭間の戦い・1560=18歳:

川中島最激戦1561=19歳: 5つ年上の織田家の足軽木下藤吉郎(豊臣秀吉)と結婚。

夫婦喧嘩をして信長に訴え、信長から'藤吉郎言語道断曲事に候。何方を相尋ね候とも、それ(禰々)様程のは又再び彼の禿げ鼠(藤吉郎)には相求め難く'と書状をもらっている。

將軍義輝自刃1565=23歳: この年、秀吉が早くも信長の奉行の一人になる。

織田信長入京1568=26歳: この年には、秀吉が信長四奉行の一人になる。

京都宣教師許可1569=27歳:

室町幕府滅亡1573=31歳: この年、秀吉が信長から江北三郡を拝領して大名になるとともに、羽柴と改姓。

長島一揆鎮圧1574=32歳:

この年、秀吉が今浜に築城し、この地を長浜と改称する。以後、長浜城に居住。この間、秀吉の長浜城下町建設の相談を受け、町人の諸役免除を続けるよう主張したことも。

安土城築城・1576=34歳: \*信長が安土城に入った際に、秀吉の名代として挨拶に行くなど、信長からの評価され立場が強まる。

上杉謙信没・1578=36歳:

石山合戦終・1580=38歳: この年秀吉が建設した姫路城に移住したらしい。

パリエール/謁見 1581=39歳:

秀吉が信長に進上した小袖200枚の制作を采配。

本能寺の変・1582=40歳:

この年、秀吉が清水宗治を高松城に囲む。本能寺の変後、長浜城攻められ、秀吉の母なかとともに大吉寺へ。山崎の合戦で、秀吉が明智光秀を破る。

賤ヶ岳の戦い・1583=41歳:

この年、北ノ荘城落城し、柴田勝家・お市自刃。秀吉は従四位下・参議に叙任。

長久手の戦い・1584=42歳:

この年、秀吉が従二位・権大納言に叙任五、小牧・長久手の戦い。

豊臣秀吉関白1585=43歳:

\*秀吉が従一位・関白に叙任されて後、従三位に叙され、北政所と称される。以後、公家に対しても秀吉の代理役となる。摂津阿彌陀寺に薬師堂建立費を寄進。母なかは従一位に叙任され、大政所と称される。

秀吉太政大臣1586=44歳:

この年、秀吉が太政大臣に任じられ、豊臣の姓を賜わる。秀吉母大政所が家康の人質になる。

パレン追放令 1587=45歳:

\*秀吉が島津討伐に向かうと、京都で公家関係業務をこなす、秀吉から九州平定を告げる返書を受取り、以後、完成した衆衆第に入って関白代役を務め、諸大名からの大事な人質を預かる主体となって行く。

刀狩海賊取締1588=46歳:

従一位・准三后に昇叙し、豊臣吉子の名を賜る。

..... 1589=47歳:

この年、淀殿が淀城で出産秀吉の子捨(すて・鶴松)養育の責任も生じる。天王寺五重塔建立を企図し、

秀吉全国統一1590=48歳:

この年、小田原攻めに淀殿が下向。

利休切腹・・・1591=49歳:

この年、秀吉は弟秀長の死去に続いて、鶴松が病死したため、関白を秀次に譲り、自らは太閤と呼ばれる。以後、大阪城住まいとなり、預かる人質も増大。

文禄の役・・・1592=50歳:

この年、秀吉が諸大名に朝鮮出兵を命じ、自ら名護屋に向かう(文禄の役)。秀吉から天王寺領含む一万一石七斗の知行目録を与えられる。秀次が左大臣、ついで従一位に叙任。大政所が死去(天瑞院)。

方広寺大仏殿1593=51歳:

この年、淀殿が秀吉の子拾丸を大坂城で出産し、秀吉は秀次の娘との嫁娶を決める。

川島通交・1594=52歳:

この年、秀吉が伏見城に移る。

関白秀次事件1595=53歳:

この年、秀吉に追放された秀次切腹し、妻妾・子は処刑。

26聖人殉教・1596=54歳:

この年、慶長の大地震があり、秀吉が大坂城で明使を引見し講和破れる。拾丸が秀頼と改名。

慶長の役・・・1597=55歳:

この年、秀吉が朝鮮再征を命じる(慶長の役)。

豊臣秀吉没・1598=56歳:

この年、秀吉が醍醐の花見後、五奉行を定めて秀頼に忠誠を誓わせる。実母朝日(康徳院)が死去。\*秀吉が死去すると、剃髪し、大坂城西の丸を家康に明渡しして京都三本木に隠棲。なお北政所と呼ばれ、公家との関係は一層密接になる。

前田利家没・1599=57歳:

この年、秀頼と淀殿が大坂城に入る。以後、京坂で役割分担し、造営中の豊国廟・豊国社を月毎に参る。

関ヶ原の戦い・1600=58歳:

伏見城が陥落。関ヶ原の戦いに際し、木下家定に守られる。兄木下家定の子で秀吉の猶子となり可愛がっていた小早川秀秋を家康の味方とすることに同意して、帰趨を決する一端を担うが、

東本願寺創建1602=60歳:

小早川秀秋が死去。

歌舞伎始・・・1603=61歳:

この年、秀頼と千姫が結婚。高台院の院号が勅賜される。

糸割符始・1604=62歳:

秀吉七回忌に挙行された盛大な豊国祭にも列席。木下家定が、高台院領の知行目録を提出。

徳川家康隠居1605=63歳:

家康の助力を得て、京都に高台寺を建立し、秀吉の菩提を弔う。

家康駿府退隠1607=65歳:

島津琉球支配1609=67歳:

家定の遺領をすべて木下勝俊に与え、家康の怒りを買って、所領を没収される。

山田長政渡航1611=70歳:

秀頼が二条城で家康と会見した際、加藤清正らとともに、同席。直後に清正が死去し心痛。

大坂冬の陣・1614=72歳:

この年、方広寺鐘銘事件契機に、大坂冬の陣。

諸法度制定・1615=73歳:

この年、大坂夏の陣で淀殿・秀頼自刃後、家康から高台院領の継承を了承され、

徳川家康没・1616=74歳:

さらに、河内国内に化粧料1万6000石を与えられるも、

知人もなくなる寂しい余生を送り、

徳川家光將軍1623=81歳:

没した。

イパニヲ断交・1624=82歳:

気さくな性質で、侍女たちばかりでなく、秀吉子飼いの武将やにも敬愛されたという。